

変化が見え始めた奈良県

令和8年9月27日

奈良県知事 山下 真

はじめに

これまで、徹底した事業の見直しと財政の健全化に努めるとともに、子育て支援や産業振興、観光振興など幅広い分野で新たな施策を展開してきました。その結果、観光入込客数や観光消費額の伸び、保育士の県内就職率の上昇、県職員の職場への満足度など、さまざまな分野で着実に数字で成果が現れ始めています。

1. 県民や事業者の安心と暮らしへの責任
2. 奈良県の子ども、若者の未来への責任
3. 豊かで活力ある奈良県を創る責任
4. 3つの責任をしっかりと果たすために

1. 県民や事業者の安心と暮らしへの責任

2. 奈良県の子ども、若者の未来への責任

3. 豊かで活力ある奈良県を創る責任

4. 3つの責任をしっかりと果たすために

➤ 大規模災害発生時の応急対策の強化

- 南海トラフ地震等の大規模災害時における、
応援部隊や支援物資の円滑な受入れ等
向け、南部中核拠点の整備を推進
- 「奈良県消防学校移転整備基本計画」を
策定し、南部中核拠点と一体的に整備を
推進

県民の命と財産を守るための防災力の強化



南部中核拠点の整備

1.地域包括ケアシステムの推進

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、市町村が行う介護予防や認知症施策、高齢者権利擁護等の取組を支援

➤ **新** 専門アドバイザー等による高齢者権利擁護の推進

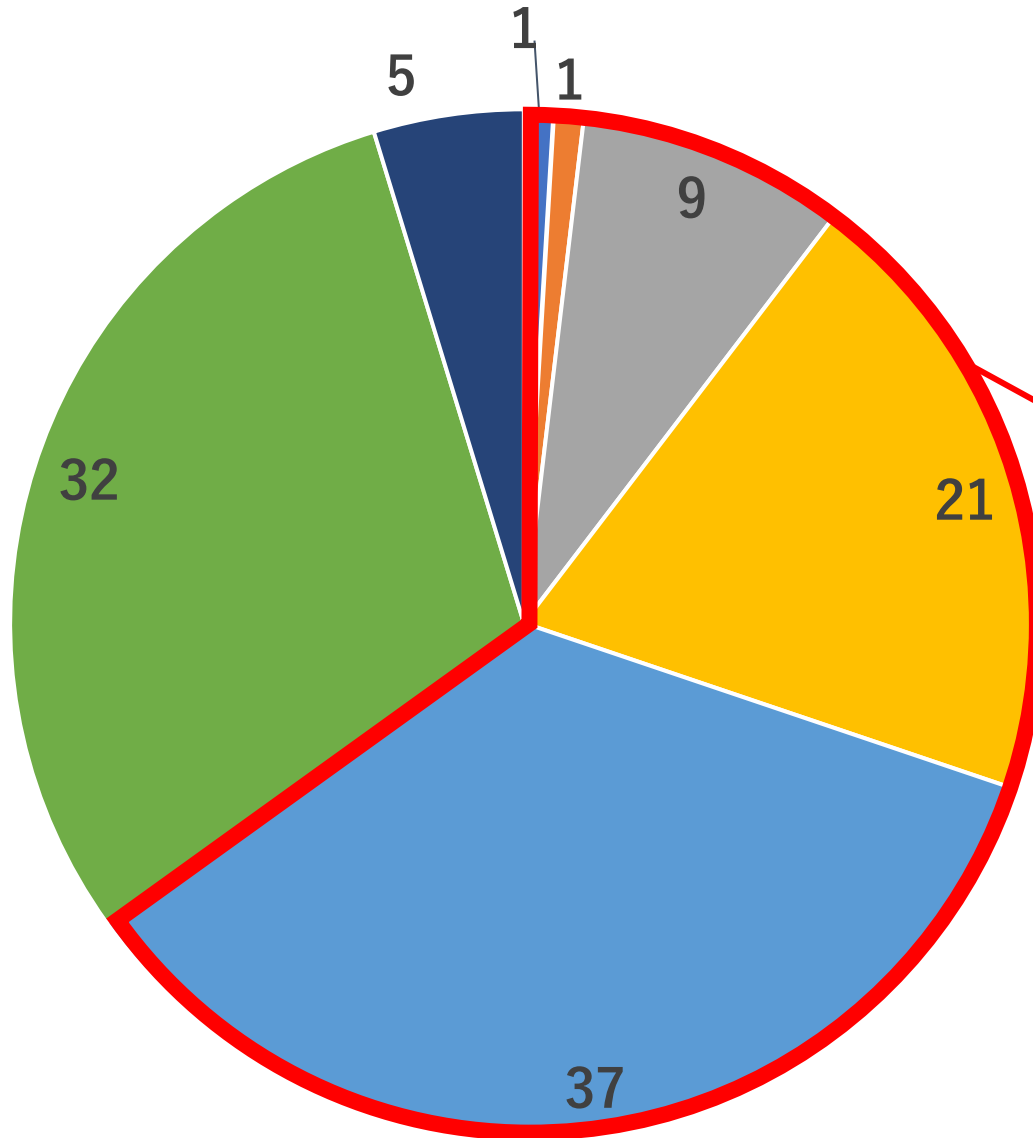
成年後見の活用等、高齢者の権利擁護に係る体制が十分に整わない市町村に対し、アドバイザー派遣等により支援

2. **新** 長寿命化による介護施設の確保

高齢化の進展に伴う必要床数の不足に対応するため、既存の特別養護老人ホームの長寿命化を実施する社会福祉法人等に対し補助

高齢者にやさしい奈良県づくり

建設年代別特別養護老人ホーム施設数



年代

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

必要床数の確保と、入居者の安全・安心な生活のため、このうち**2040年までに耐用年数を迎える施設**についてはメンテナンスが必要

3. 介護人材の確保・定着

➤ **新** 介護に関わる専門職の人材確保に繋がる環境づくり

- ・ 県民と介護の専門職が交流する機会を創出し、県内で活躍する介護従事者の姿を発信するイベントを開催

➤ **新** 高齢者の介護分野への参入促進

- ・ 高齢者の介護分野への参入と生きがい就労による介護予防を促進するため、市町村と連携し、介護事業所における高齢者の就労を支援



就労による健康づくりをしながら
介護事業所で活躍（生駒市）

1. 県民や事業者の安心と暮らしへの責任
2. 奈良県の子ども、若者の未来への責任
3. 豊かで活力ある奈良県を創る責任
4. 3つの責任をしっかりと果たすために

➤ **新** 低所得のひとり親世帯への生活支援

- ・ 食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得のひとり親世帯に対し、生活支援のための給付金を支給

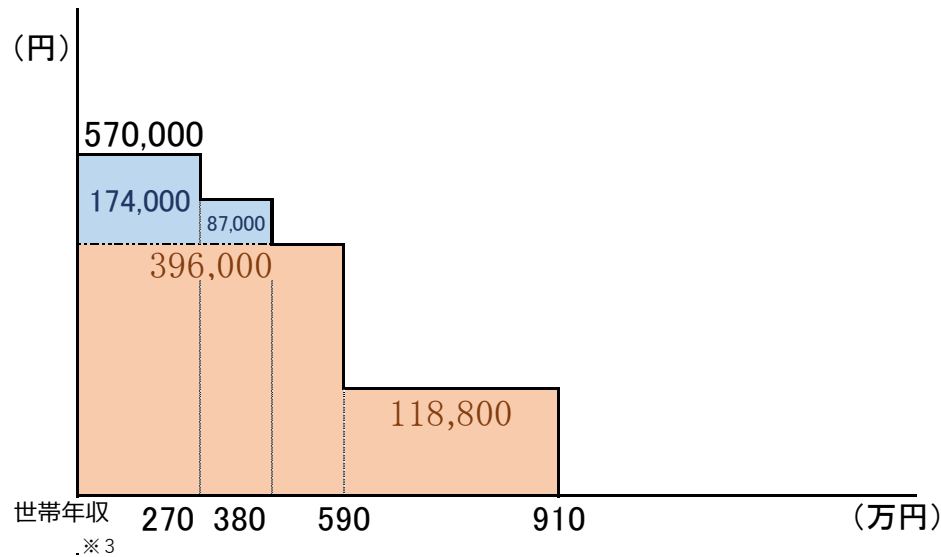
対 象 児童扶養手当受給世帯

補助単価 児童 1 人あたり 2 万円

高校授業料の無償化

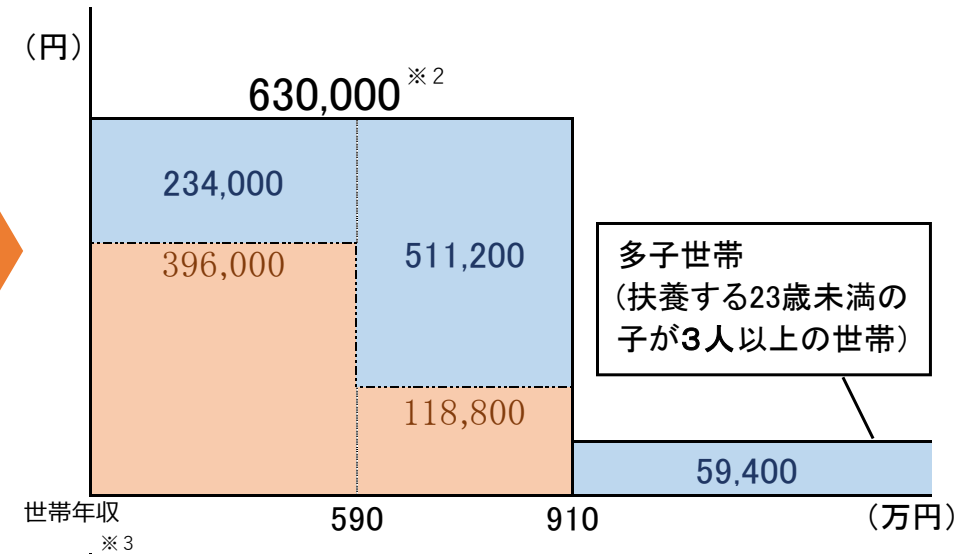
【私立高等学校等※1（全日制・定時制）の支援イメージ】

令和5年度



(国) 高等学校等就学支援金 [国10/10] (県) 授業料等軽減補助金 [県10/10]

令和6年度



(国) 高等学校等就学支援金 [国10/10] (県) 授業料等軽減補助金 [県10/10]

※1 私立高等学校・私立専修学校(高等課程(3年制))

(通信制高校については、県内に設置された県の認可校に限る)

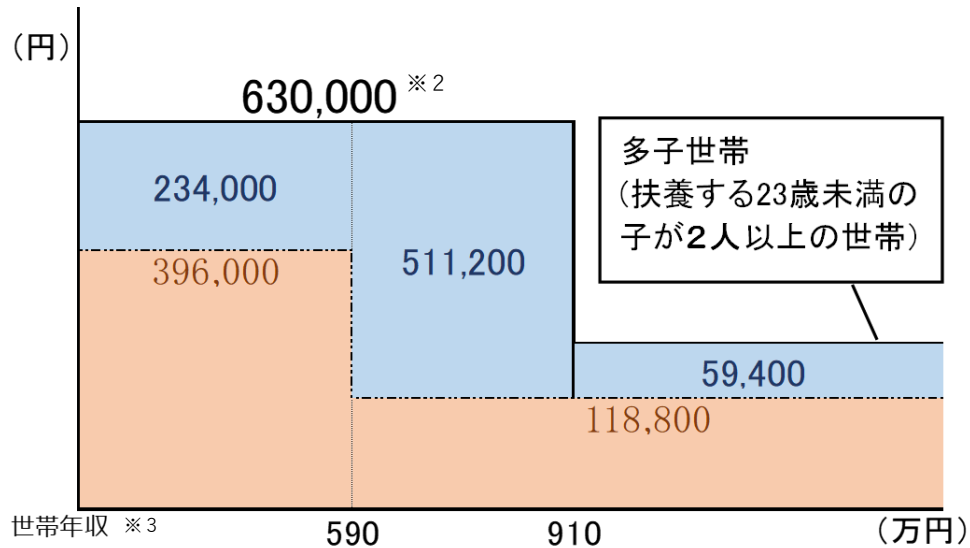
※2 通信制は32万1000円

※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

高校授業料の無償化

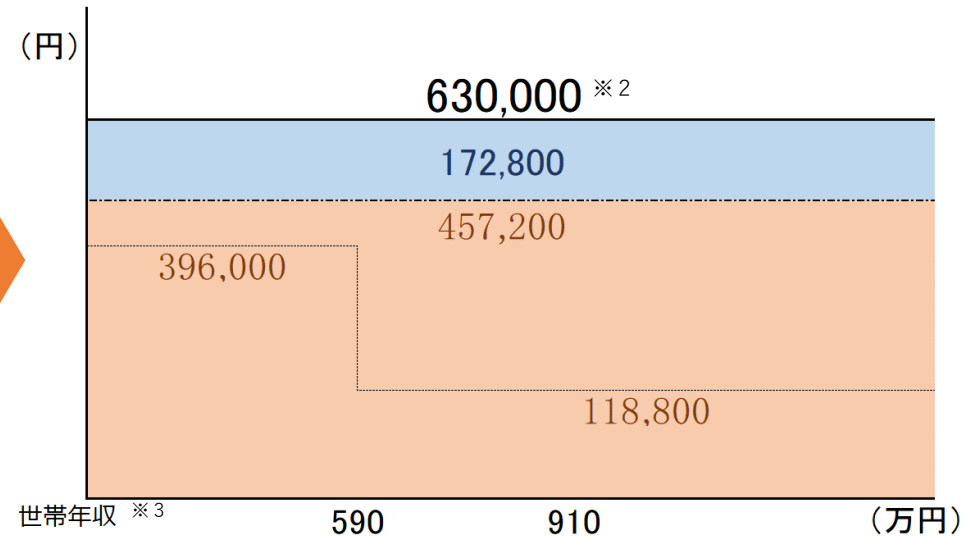
【私立高等学校等※1（全日制・定時制）の支援イメージ】

令和7年度



(国) 高等学校等就学支援金 [国10/10] (県) 授業料等軽減補助金 [県10/10]

令和8年度



(国) 高等学校等就学支援金 [国3/4 県1/4(交付税措置あり)] (県) 授業料等軽減補助金 [県10/10]

※1 私立高等学校・私立専修学校(高等課程(3年制))

(通信制高校については、県内に設置された県の認可校に限る)

※2 通信制は32万1000円

※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

学校給食費の無償化

- **新** 保護者負担となっている学校給食費（食材費）の負担軽減を通じた子育て支援を実施

【補助対象経費】

公立の小学校（義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部を含む）の学校給食費



学校給食

【補助額】

- 市町村立学校

給食実施校の
在籍児童数

×

月額
5,200円

×

11ヶ月分を
国1/2、県1/2で負担

- 特別支援学校

給食実施校の
在籍児童数

×

月額
6,200円

×

11ヶ月分を
国1/2、県1/2で負担

県立学校の環境改善

➤ 県立高校トイレピッカピカ5カ年計画を推進

- ・ R 6 年度～10年度でトイレの洋式化・乾式化等
- ・ R 8 年度は8校で工事完了、残りの高校についても順次工事着手



工事完了後

➤ 特別教室、体育館等への空調設備の設置

特別教室

- ・稼働率の高い教室を優先して空調設備を設置
R8年度 県立高校・特別支援学校 6校10室

体育館

- ・授業中等の熱中症対策のため、令和13年度中に全校の空調設備設置を目指す
R8年度 県立高校：設計に着手
特別支援学校：全校に設置完了

➤ 県立学校の老朽化対策

- ・屋上防水改修等の大規模な改修
- ・教育環境改善のための修繕や備品更新等



体育館に設置された空調設備

1. 県民や事業者の安心と暮らしへの責任
2. 奈良県の子ども、若者の未来への責任
3. 豊かで活力ある奈良県を創る責任
4. 3つの責任をしっかりと果たすために

4 企業競争力を支える 基盤強化
(生産性向上、D X等)

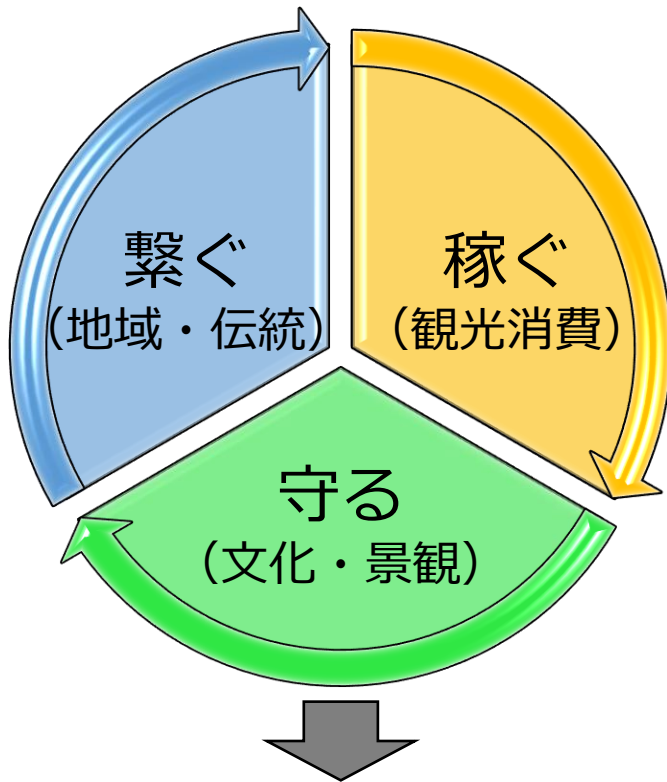
➤ **新** プレミアム商品券発行事業

実質消費の回復を促し、地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券を発行

発行総額	84億円 (56万口)
プレミアム率	50% (1口10,000円の購入で、15,000円分利用可能)

➤ 重点施策の明確化と柱の策定・・・「4つの柱」

観光消費額の拡大と滞在の深化・広域化を通じて、「稼ぐ」・「守る」・「繋ぐ」の好循環へとつなげるという観光政策のビジョンと重点施策を明確化



1 持続可能な観光の推進

2 広域周遊観光の促進

3 宿泊観光と消費の拡大

4 観光DXの推進

「観光政策パッケージ2026」で、
稼ぐ観光・持続可能な観光を推進

1. 広域周遊観光の促進

大河ドラマ効果や「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を契機とする中南和観光の盛り上がりを見据え、点から線、面へと転換していく県内外の広域周遊観光の推進

➤ NHK大河ドラマを活用した誘客促進

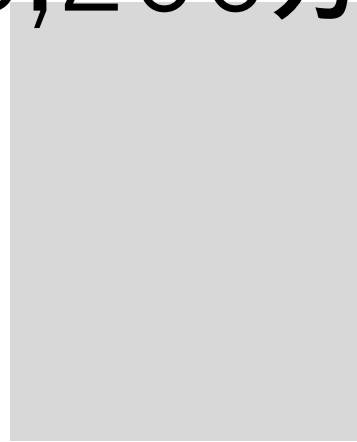
豊臣秀長公ゆかりの地である大和郡山市をはじめ県全体への誘客促進と県内周遊を図るため、NHK大河ドラマを契機とした取組を実施

観光の成果

観光入込客数

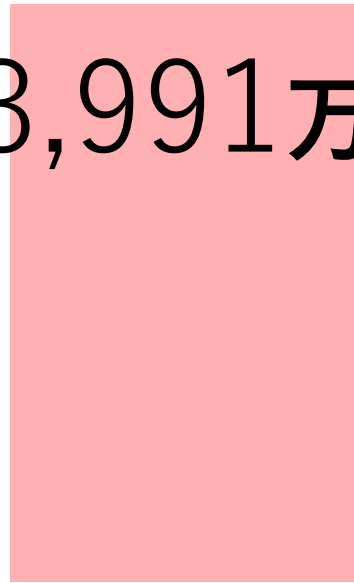
R5年より **371万人増加**

3,266万人



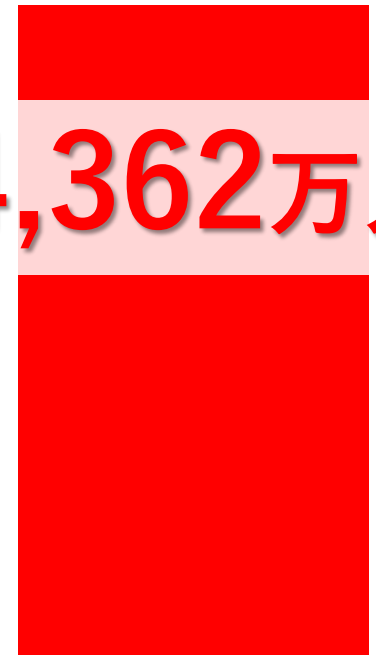
R4

3,991万人



R5

4,362万人

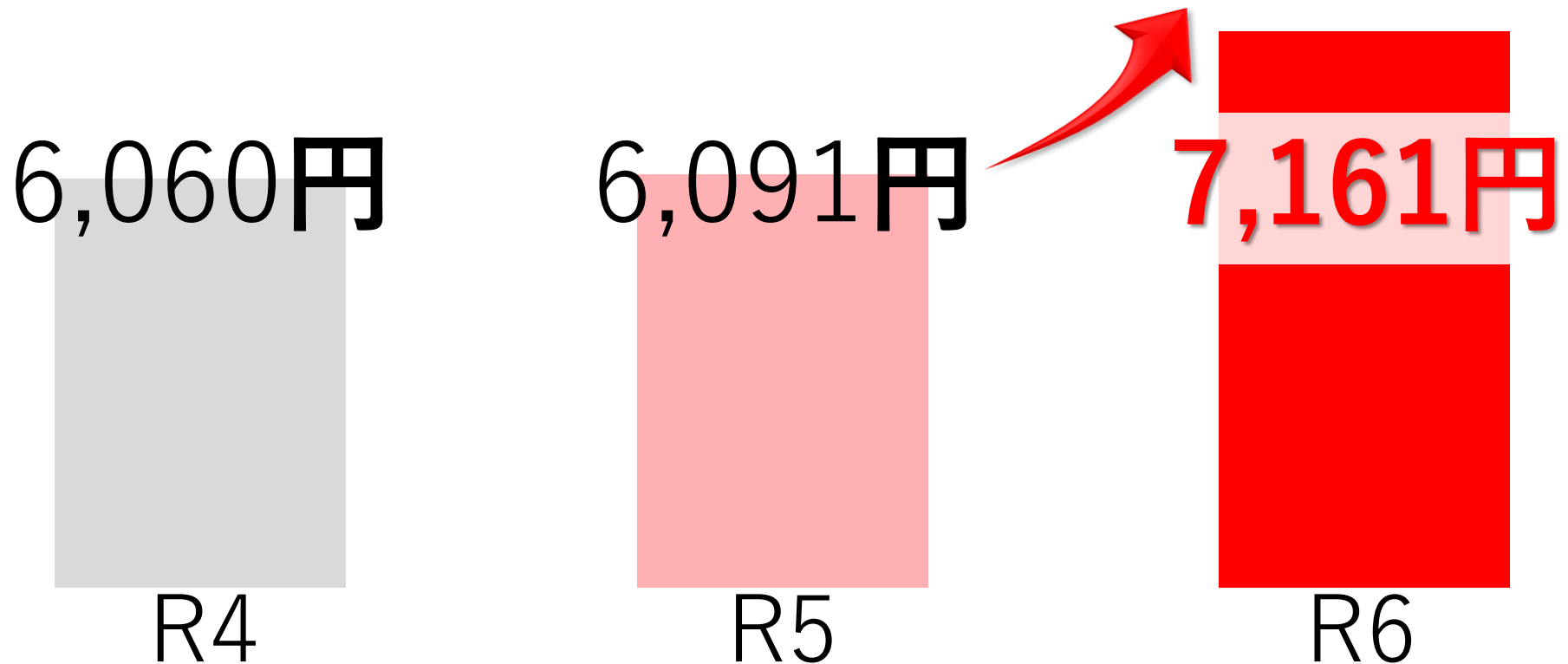


R6

観光の成果

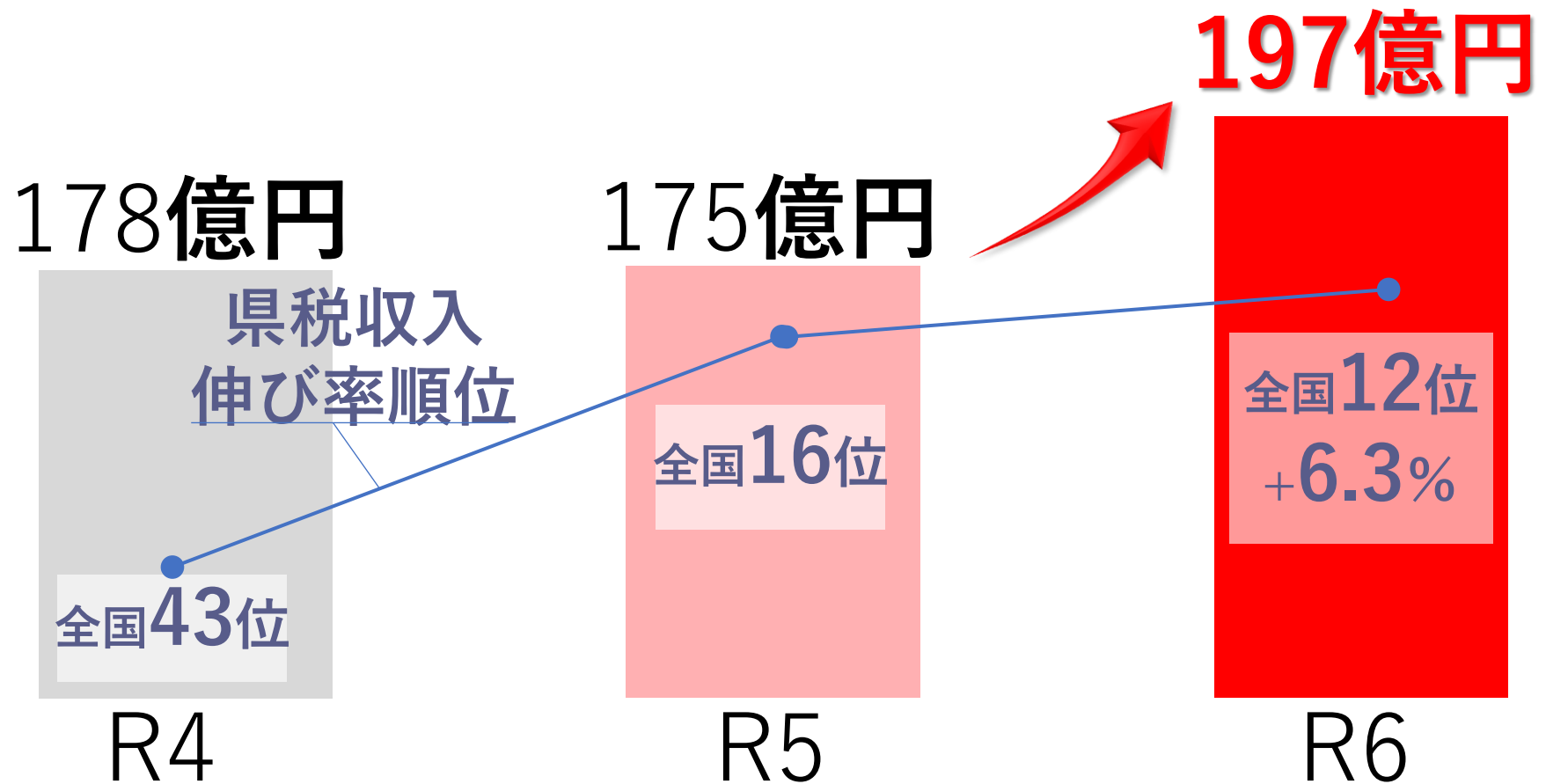
一人あたり観光消費額

R5年より **1,070円増加**



県税収入（地方消費税）

R5年度より **22億円増加**



大阪・関西万博を契機とした 奈良県内での観光等に伴う経済波及効果

万博を契機とした県内観光等に伴う経済波及効果は、**150.5億円**と推計

内訳

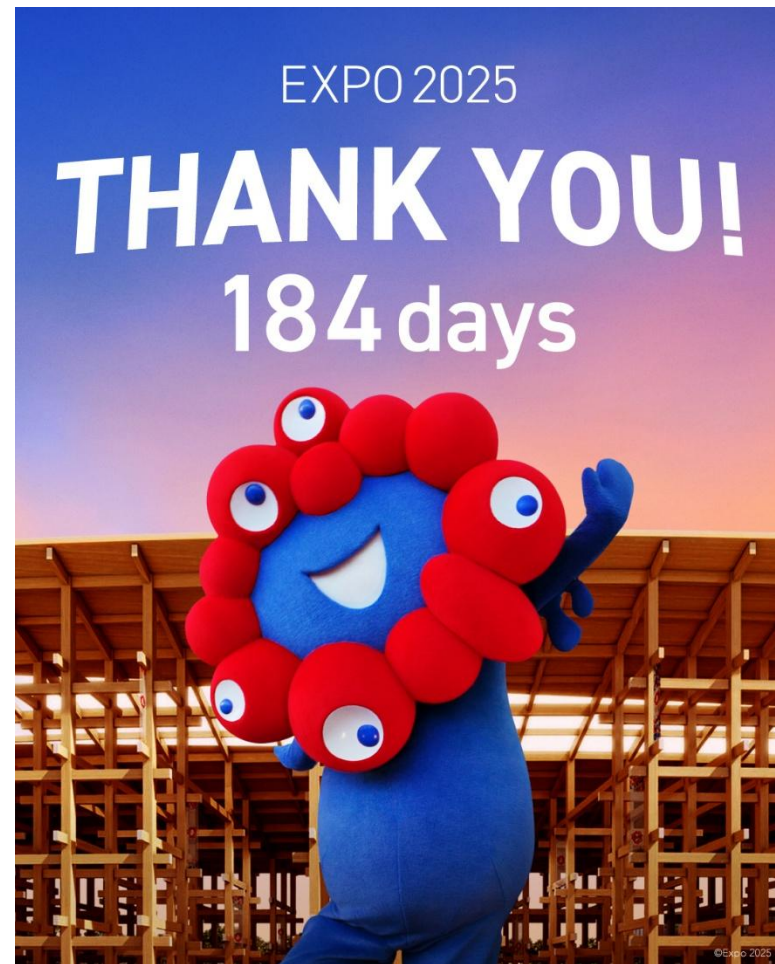
- ・国内観光客による経済波及効果：
119.7億円
- ・インバウンドによる経済波及効果：
30.8億円

令和6年奈良県観光消費額※**7.3%**に相当

※令和6年奈良県観光消費額 2,060億円



万博は、奈良県経済の活性化
に大きく寄与！！



奈良の食と農の魅力づくり

1. 県産農産物等の海外への販路拡大を支援

人口減少に伴い、国内における農産物の需要の縮小が見込まれる中、
農業者の所得向上を実現するための取組を実施

➤ **新** 県産農産物の輸出促進に向けた生産拡大を支援

- ・イチゴ：輸出に取り組む生産者の組織化を支援
- ・茶：海外向け病害虫防除技術を普及



輸出向け品種として期待される
「古都華」(写真左)、「奈乃華」(写真右)



海外で需要が高い
てん茶

クビアカツヤカミキリ対策に係る県の取組

➤ 30市町村に被害が拡大、官民を挙げてクビアカツヤカミキリ対策を推進

- 防除マニュアルの整備
- 被害情報の収集/発信/共有
- 防除技術の指導
- 県民ボランティア「サクラ見守り隊」による活動推進
- 国庫補助金の要望、市町村の申請支援 など



県民ボランティア「サクラ見守り隊」の防除実習の様子

クビアカツヤカミキリ対策に係る県の取組

➤ 令和7年10月に吉野山で被害初確認、地元と連携して被害拡大を防止

- 吉野山（県管理地・21ヘクタール）において、モニタリング、薬剤処理等の防除を実施
- 環境省・吉野町・吉野山保勝会・22世紀吉野桜を愛でる会等と連携し、被害拡大を防止



吉野山でのクビアカツヤカミキリ巡視
ボランティア活動の様子

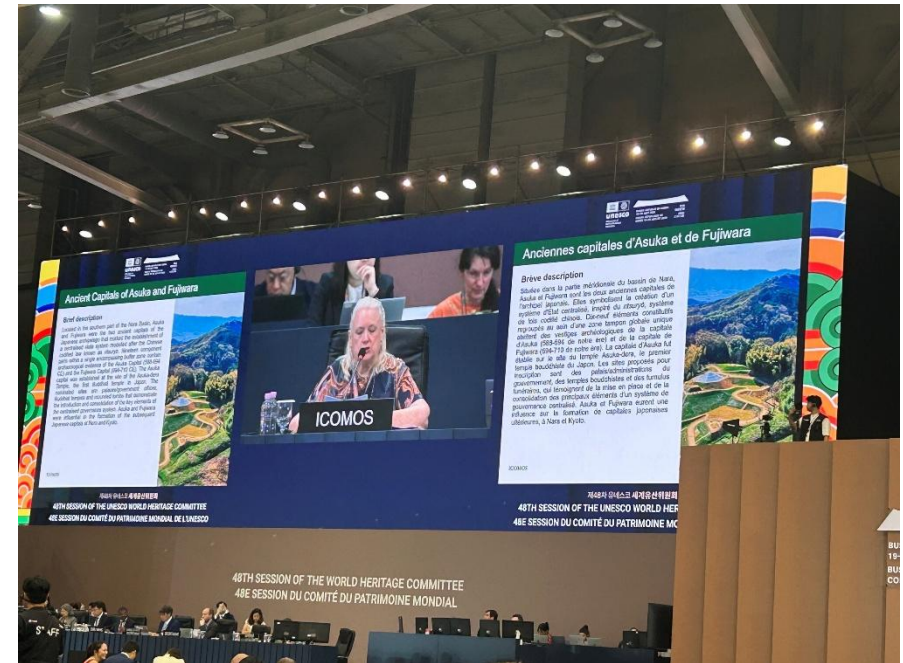
世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」の 魅力向上推進

1. 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に伴う事業の実施

- ・ 第48回世界遺産委員会への出席、
現地プロモーションの実施
(韓国・釜山)

令和8年7月26日 登録決議

- ・ 審査状況の中継を含む
地元でのパブリック
ビューイングの実施



第48回世界遺産委員会での審議の様子



登録決議直後の議場でのサンキュースピーチの様子

世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」の 魅力向上推進

2. 「飛鳥・藤原」の更なる魅力の発信

- 多言語パンフレットの作成・配布
- 構成資産 V R 映像の多言語解説音声制作
- 広域周遊プランや観光コンテンツの充実と国内・海外向け情報発信・プロモーションを強化
- 史跡周辺農村地域での農業体験メニュー等の検討 ほか



V R 体験会



V R 画像イメージ（飛鳥京跡苑池）

➤ 文化財保存修理の促進

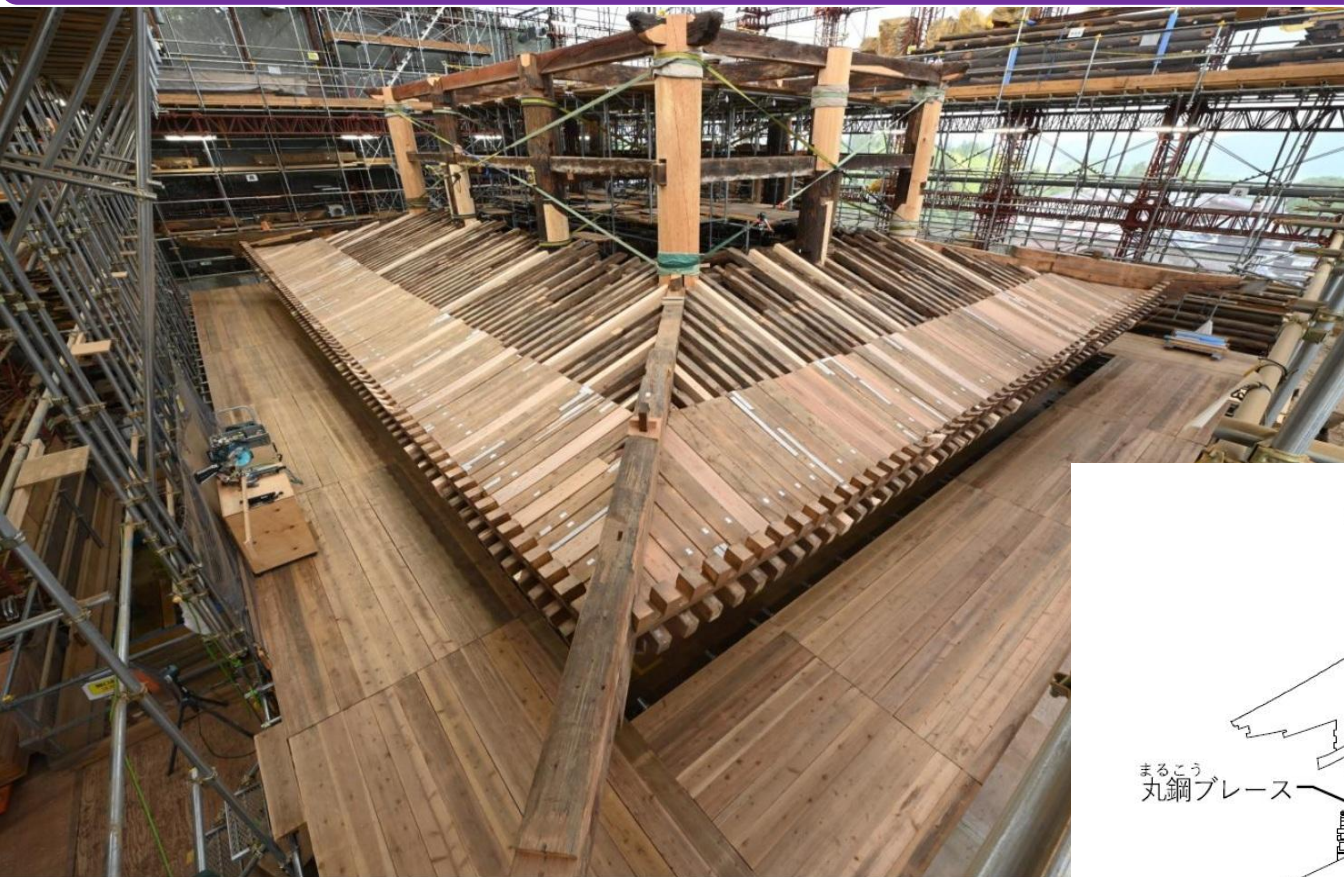
- ・ 国宝金峯山寺二王門修理事業を含む県内 5 箇所において、県が常駐し修理事業を実施
- 新 ・ 県内外からふるさと納税によるご寄附をいただき、文化財の保存修理等に活用する「**奈良のふるさと文化財応援プロジェクト**」を開始

➤ 金峯山寺二王門の修理概要

- ・ 令和 2 年 9 月より着手、令和11年 3 月に完了の予定
- ・ 全解体して構造補強することにより耐震性能を確保

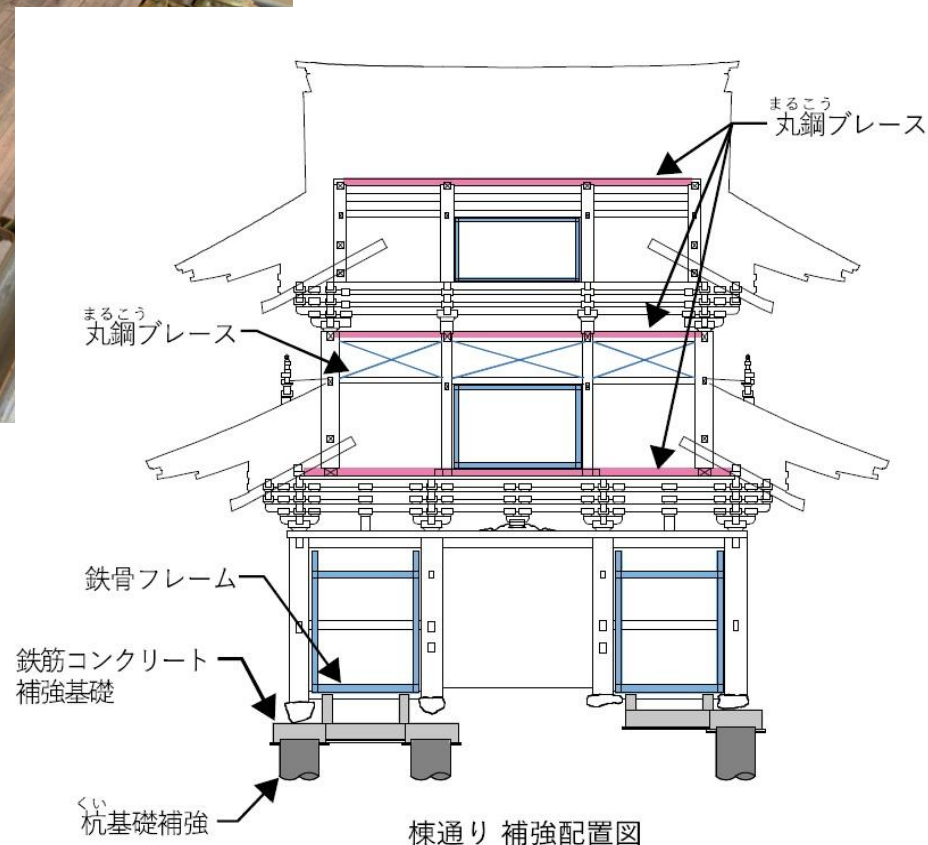


文化財の保存と活用



▲現在の修理状況（令和8年7月）

▶構造補強イメージ



➤ 市町村の競技施設の整備を支援

市町村等が行う、大会の競技会場となる施設の整備・改修に要する経費に対し補助

➤ スポーツ拠点施設の整備

整備基本計画を踏まえ、橿原公苑陸上競技場・野球場の改修設計、新弓道場の設計等を実施

国スポ・全スポ奈良大会準備の推進



▲ 橿原公園整備全体イメージ

▶ 新弓道場整備イメージ



➤ 競技力の持続的な向上、スポーツ人材の育成

- ・（公財）奈良県スポーツ協会への事業補助を通じ、アスリートや指導者の活動を支援
- ・将来の活躍が期待できるジュニアアスリートを発掘、育成



未来の
トップアスリート
発掘育成事業

➤ 住民の福祉の向上及び生活の安定と力強い市町村づくり

- ・ **新** 南部・東部地域の市町村の職員確保を支援するため、民間の就職情報サイト等を活用した情報発信や合同説明会を実施



合同説明会のイメージ

南部東部地域の振興

➤ 魅力ある地域づくりの推進

- ・奥大和アウトドア・スポーツツーリズムの推進



➤ 産官学連携による魅力ある地域づくりや課題解決の取組に対して補助

- 市町村と大学、民間事業者が連携
- 地域の多様な資源を活用
- 新たな調査研究や創意工夫のあるソフト事業を対象

<例>

世界遺産吉野山活性化事業への支援

世界遺産「吉野・大峯」の魅力や保全の意義及び「クビアカツヤカミキリ」被害と対策支援を訴えるシンポジウム



世界遺産吉野大峯シンポジウム

祈りの聖地、千年の桜

～日本のこころ吉野山を未来へ～

2026.09.26[土] 第一部 14:00-16:00 第二部 16:00-17:30

本シンポジウムは、世界遺産「吉野・大峯」の価値と魅力、吉野山の桜樹林が持つ歴史・文化的意義を広く発信するとともに、特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害の現状や防除対策の必要性を周知することを目的に開催いたします。

また、本シンポジウムを通じて、吉野山の未来をともに考え、継続的に関わり応援してくださる「関係人口」の輪を広げ、ふるさと納税や企業販ふるさと納税などによる支援の取組をご紹介します。吉野山の桜を次の1000年へ受け継ぐための具体的な行動につなげるための契機とします。

第一部 シンポジウム

基調講演 『修験道と吉野の桜』
総本山金峯山寺管領 五條 良知 師

事例報告
『吉野で取り組むクビアカツヤカミキリ対策』
吉野町長 中井 章太 氏

第二部 交流会

吉野の特産品を囲んで
来場者・登壇者・地元関係者による交流会

パネルディスカッション
『日本のこころ ～祈りの桜を未来へ～』
司会者 正木 晃 氏 総本山金峯山寺管領 五條 良知 師
吉野町長 中井 章太 氏 MCタレント 吉野町観光大使 南 かおり 氏



1. 県民や事業者の安心と暮らしへの責任
2. 奈良県の子ども、若者の未来への責任
3. 豊かで活力ある奈良県を創る責任
4. 3つの責任をしっかりと果たすために

道路整備の加速化

1.骨格幹線道路ネットワーク等の整備推進

- ・ 国道168号
(小平尾バイパス、香芝王寺道路、王寺道路、新天辻工区)
- ・ 国道169号 (御所高取バイパス、高取バイパス) ほか

2.京奈和自動車道等の 整備推進

- ・ 京奈和自動車道
(大和北道路、大和御所道路)
- ・ (都) 西九条佐保線
ほか



国道169号高取バイパス
バイパス道路の整備を推進【令和8年度完成供用予定】⁴⁾

道路整備の加速化

3.『ならの道 リフレッシュ プロジェクト』

➤ 計画的な維持管理による道路利用者への快適な道路空間の提供

当初

■ 期間：5 ヶ年（R 6 ～ R 1 0）

■ 対象：大型車交通量が1,000台/日・方向以上ある
県管理道路 約122kmの損傷している区間



R7年より舗装修繕の対象路線や区間を追加し拡大

追加
拡大

■ 期間：4 ヶ年（R 7 ～ R 1 0）

■ 対象：自動車交通量が10,000台/日以上ある
県管理道路 約198kmの損傷している区間

道路整備の加速化

リフレッシュプロジェクトの主な実施内容

- ・ **舗装の耐久性向上**

従来の表層・基層の修繕に加え、路面の損傷度に応じた**路盤の修繕**

- ・ **区画線の維持修繕（視認性の向上）**

通報やA I 解析による**評価データに基づいた、計画的**な区画線補修

- ・ **草刈りのメリハリ化（不快感の軽減）**

道路への**雑草が生えない対策**、
観光地や危険個所にも注目した草刈り等

- ・ **道路維持管理のDX（通報しやすさの向上、道路状況確認の効率化）**

LINE(#9910)による通報サービスの活用、スマートフォンを利用した道路状況の調査



道路整備の加速化

➤ 山間エリアを対象とした支障木伐採負担事業

現状 山間エリアにおける課題
⇒ 放置された民有林からの枝落ちや倒木により、
道路利用者の 安全・安心な通行が脅かされる状況

支障木伐採負担事業

市町村と連携した民有林の支障木への対策
(県の負担は、伐採及び防草対策の費用)

- ・ 市町村が民有林の所有者と交渉、同意後に伐採及び処分を実施
- ・ 伐採後の維持管理は土地所有者などが実施
- ・ 伐採後は、沿道区域制度による道路への損害予防措置命令など土地所有者への行政指導による抑止効果を期待



県道川津高野線(野迫川村北股)伐採状況

- ・ 若手提案
- ・ 生成 A I の活用
- ・ 服装の柔軟化
- ・ 育児休業



**職場の雰囲気や人間関係がよいと感じている
職員割合**

R5年度：75.2% ➡ R7年度：81.9%

**仕事の進め方等に良い変化を感じている
職員割合**

R5年度：49.0% ➡ R7年度：58.0%

夏季における5日間以上の休暇の取得率

R5年度：91% ➡ R7年度：97%

県庁での働き方に満足している職員の割合

R5年度：58.4% ➡ R7年度：67.7%

**メンタルヘルス不調による新規長期病休者数
(30日以上)**

R5年度：69人 ➡ R7年度：48人

令和7年度 ふるさと納税の寄附受入額

ポータルサイトの拡充・返礼品の充実により、**個人版ふるさと納税の金額が増加**しました。

- 県分の寄附金受入額は、令和6年度の約2億3,700万円から約4億7,400万円（約2.0倍）に増加
- 令和6年度から令和7年度の伸び率は全国約14.3%に対して、奈良県は約100.3%
- 令和5年度から令和7年度の伸び率は全国約44.9%に対して、奈良県は約441.7%

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
奈良県 (市町村分除く)	寄付金受入額 (年度) ①	100,985	210,837	87,499	236,703	474,003
	寄附金住民税 控除額(暦年) ②	2,342,500	2,731,116	3,013,721	3,395,545	3,669,743
	収支差 ①－②	▲ 2,241,515	▲ 2,520,279	▲ 2,926,222	▲ 3,158,842	▲ 3,195,740
	交付税措置額 ③＝②×0.75	1,756,875	2,048,337	2,260,291	2,546,659	2,752,307
	交付税を考慮した 収支差 ①＋③－②	▲ 484,640	▲ 471,942	▲ 665,931	▲ 612,183	▲ 443,433

公約達成状況 98%達成!

23項目のうち、
22.5項目を達成

選挙時の公約		現在の状況 (2026年3月時点)
教育無償化	経済的な理由で学びを諦めることがないよう、公立・私立問わず、高校授業料を無償化。	達成!(令和6年度~) ※令和8年度~所得制限を撤廃し、全世帯に対して、国の就学支援金と合わせ年額63万円まで無償化を実現! 県外の私立高校に通う生徒は、国の就学支援金により45万7,200円まで支援
	所得制限なし。県外の私立高校に通う生徒も対象。	達成!(令和8年度~)
子育て支援	0~2歳児の保育料無償化。	検討中
	18歳までの医療費助成(全市町村)の実現に向け、県と市町村の協議の場を設ける。	達成!(令和6年度~) ※令和5年8月より18歳までの医療費助成(全市町村)を実現。さらに令和6年8月より現物給付方式の対象年齢を未就学児までから18歳までに拡大。
	市町村と協力し、就労の有無にかかわらず利用できるベビーシッター等の子育てクーポンの配布を検討。	達成!(令和7年度~)
	不妊治療の県独自の支援制度を創設。保険適用外の「混合診療」や「先進医療」の治療費を助成。	達成!(令和7年度~) ※生殖補助医療(先進医療として認められていない医療除く)の自己負担を支援する市町村に対する補助
	発達障がいなど支援を必要とする子どもが適切なサポートを受けられるよう、相談機能を強化。	達成!(令和6年度~) ※相談員増員、診断にあたる小児科医師を増員、支援に取り組む市町村に対し補助
	不登校の子どもへの支援。	達成!(令和6年度~) ※スクールカウンセラーの拡充、学習支援員の配置を大幅に増加
	ヤングケアラーの早期発見に向けた体制を構築。	達成!(令和6年度~) ※ヤングケアラー支援室に専門職を配置

選挙時の公約	現在の状況 (2026年3月時点)
教員や保育士への支援	子どもと向き合う時間を拡充するため、教員の事務仕事の軽減を図る。 達成! (令和6年度~) ※教員業務支援員の配置を大幅に増加
	県独自の手当制度の創設により残業代の適切な支給につながるよう検討。 達成! ※制度の創設ではなく、残業をなくすための教員の負担軽減策により達成
	保育士の研修を強化し保育の質の向上を図る。 達成! (令和6年度~)
	保育士の再就労支援や、保育士の待遇を改善。過疎地域の保育士確保対策。 達成! (令和6年度~)
物価高対策	国の地方交付金を財源として、県民や事業者を支援。学校給食費や省エネ家電への買い換えの支援、プレミアム商品券や地域で活用できるマイナポイントの発行等を検討。 達成! (令和5年度~)

選挙時の公約		現在の状況 (2026年3月時点)
経済・観光 振興	関西広域連合に全面加入。	達成!(令和6年度~)
	県内中小・零細企業を支援(企業の県外流出を食い止めるため土地利用の規制緩和など)。	達成!(令和6年度~) ※企業ヒアリングをもとに「新しい産業政策のパッケージ」を推進中
	知事のトップセールスにより企業版ふるさと納税の活用推進。	達成!(令和6年度~) ※令和4年度1,100万円から令和5年度2,310万円に増加
	2025年の大阪・関西万博を絶好の好機と捉え、体験型観光の強化や県南部・東部の観光プロモーションを促進、インバウンド誘致につなげる。	達成!(令和6年度~)
	民間のアイデアで観光にイノベーションを起こすための戦略本部(仮)の設置。	達成!(令和6年度~) ※「奈良県観光戦略本部」で観光GDPの拡大に向け議論
高齢者	運転免許自主返納者への支援の拡充。	達成!(令和8年度~) ※運転診断ツールを活用し、70歳以上の高齢ドライバーの運転能力を可視化
就労支援	企業誘致を進め、若者や女性の新たな雇用を生み出す。	達成!(令和6年度~) ※企業立地補助制度をインセンティブとした誘致の推進、スタートアップへの新たな支援
	短時間勤務など柔軟な働き方を推進する地元企業を支援。	達成!(令和6年度~) ※企業の柔軟な働き方を推進する取組を支援(専門家派遣、企業表彰など)、女性への有給インターン実施を支援
	定年後のキャリアチェンジや起業を支援。	達成!(令和7年度~)

飛躍の芽吹きが未来を創る

奈良県の未来に向けて蒔いてきた種は、芽吹き始めています。その芽を大きく育て、花を咲かせ、確かな実りへとつなげるため、取り組みをさらに加速させ、よりよい奈良県の実現を目指します。



ご清聴ありがとうございました。